

福知山公立大学開学記念連続講演会 in 福知山市 アンケート集計結果

平成 28 年 9 月 10 日（土）14：30～16：20
市民交流プラザふくちやま 3F 『市民交流スペース』

【アンケート実施概要】

参加者数	芳名記帳者数 119 人		
回答者数	109 人		
性別	男性： 87 人	女性： 13 人	回答なし・不明： 9 人
回収率	92%		

【Q1】年齢は？

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代以上
3	0	4	9	27	23	18	9	0

※回答なし・不明： 16 人

【Q2】この講演会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

大学のホームページで	新聞で	知人・友人から	福知山市の広報で（広報誌、ライン等）	その他
9	33	39	63	20

※回答なし・不明： 4 人

〈具体的に〉

- ・フェイスブック
- ・ポスター
- ・回覧
- ・自治会

【Q3】「地方創生時代における地方公立大学の役割」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
62	37	7	0	0

※回答なし・不明： 3 人

〈感想〉

- ・福知山公立大学の設立理念は正しかったと確認できた。
- ・大学が福知山、北近畿。日本各地方のために役立つ場となってほしい。
- ・大学の存在意義など初めて聞いた話で、よく分かり参考になった。
- ・片山氏の具体案と国との運営をどう結び付けるかという案がほしかった。
- ・地域で考える、そのとおりであると思った。

【Q4】「福知山公立大学開学記念鼎談」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
47	44	10	0	0

※回答なし・不明： 8 人

<具体的に>

- ・大学の役に立てることがないか、自分も考えていきたい。
- ・地域でのフィールドワークの意義がだいぶ分かった。
- ・短い時間であったが、内容のある鼎談であった。
- ・市、大学の連携の必要性が認識されたのではないと思う。
- ・まちかどキャンパス、議会より大学教員に研究費を出すことは良いアイデアだと思った。

【Q5】福知山公立大学に期待すること

- ・市民から大学で研究してほしいという案件が多く出ることを期待している。
- ・北近畿の活性化の目玉になること。
- ・まちづくりの拠点となることを期待している。
- ・北近畿全域に研究成果等の発信をしてほしい。

【Q6】その他（ご意見等）

- ・人口からみて公立大学の設立は無理があると思っていたので、教職員が自覚してほしい。
- ・今回のようなもっと時間を取って、市民に教員の紹介をしてはどうか。
- ・福知山から北近畿地域の関係諸団体との交流。
- ・高齢者対象の講座開催を希望する。
- ・特徴、魅力がない町と言われるが、大学のある町として魅力発信をしてほしい。

福知山公立大学 井口 和起 学長 あいさつ



大学紹介 江上 直樹 助教



福知山公立大学開学記念連続講演会 in 与謝野町 アンケート集計結果

平成 28 年 10 月 15 日（土）13：30～16：00
野田川わーくばる

【アンケート実施概要】

参加者数	芳名記帳者数 102 人		
回答者数	84 人		
性別	男性： 65 人	女性： 13 人	回答なし・不明： 6 人
回収率	82%		

【Q1】年齢は？

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代以上
0	7	8	17	24	14	3	2	0

※回答なし・不明： 9 人

【Q2】この講演会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

大学のホームページで	新聞で	知人・友人から	与謝野町の広報で (広報誌、ライン等)	その他
2	3	11	54	13

※回答なし・不明： 6 人

〈具体的に〉

- ・フェイスブック
- ・チラシ
- ・与謝野町リベラルアーツ

【Q3】「デザインマネジメントによるまちづくり～みえるまちをつくる～」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
45	31	6	1	0

※回答なし・不明： 1 人

〈感想〉

- ・一人一人の意識を変えるため、協力できる機会、それを知る機会を広げたい。
- ・与謝野町のデザインの中に福知山公立大学のスキルが注入されれば更に良くなると思う。
- ・「美術・芸術」と「デザイン」の違いが明確に説明されて、理解が進んだ。
- ・町民の意識を変えることで素晴らしい町になると思う。
- ・まちの原点を見つめ直す機会になった。

【Q4】「福知山公立大学開学記念鼎談」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
33	33	11	1	0

※回答なし・不明： 6 人

<具体的に>

- ・覚えるから考える教育に変わっており、与謝野町でその教育が始まっていることは感動した。考
える町の本質が少しあつた。
- ・今後の認識共有に大きな意義があつた。
- ・楽しく聞けた。やっと待ち望んだ町ができると感じた。
- ・町長を巻き込んでのこういう企画はいいと思う。
- ・自分自身の学習の場となつた。

【Q5】福知山公立大学に期待すること

- ・企業とのマッチング事業
- ・小規模多機能のまちづくりのコーディネート各地域で開催してほしい。
- ・北近畿地域が強い競争力を持つ地域になるよう、協力してほしい。
- ・自分の生まれ育った町の良さを知る学習をして、自らが関心を持ちみえる町づくりをする人にな
る人材育成を期待する。
- ・地域と近い関係であり続けてほしい。

【Q6】その他（ご意見等）

- ・地域の若者が留まるだけでなく、他地域からの若者が一人でも多く集う存在になってほしい。
- ・福知山公立大学がますます発展していくことを期待している。
- ・たいへん良い企画だと思った。
- ・地域経営+何かスキル（ITであつたり、語学であつたり）、専門性が必要だと思う。
- ・田子氏に福知山公立大学で市民も参加できる講義を行つてほしい。

福知山公立大学開学記念連続講演会 in 宮津市 アンケート集計結果

平成 28 年 10 月 22 日（土）18：00～20：30
ホテル北野屋

【アンケート実施概要】

参加者数	芳名記帳者数 56 人		
回答者数	49 人		
性別	男性： 34 人	女性： 15 人	回答なし・不明： 0 人
回収率	88%		

【Q1】年齢は？

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代以上
4 人	3 人	3 人	12 人	14 人	7 人	2 人	0 人	0 人

※回答なし・不明： 4 人

【Q2】この講演会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

大学のホームページで	新聞で	知人・友人から	宮津市の広報で（広報誌、ライン等）	その他
1 人	2 人	14 人	16 人	16 人

※回答なし・不明： 4 人

〈その他内訳〉

- ・フェイスブック
- ・チラシ
- ・ポスター
- ・第2回の講演会で

【Q3】基調講演「神山発！日本の田舎をステキに変える～人が人を呼ぶ地域資源の活かし方～」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	悪くなかった
37 人	12 人	0 人	0 人	0 人

※回答なし・不明： 0 人

〈感想〉

- ・自分自身の将来像に大きな影響をいただいた。
- ・空き家活用など、宮津できそうなことが多くあった。
- ・移住政策を進めていくことは、地域活性化にとって重要だと思った。
- ・今まで自分にはなかった地域活性化の発送が聞けて、非常に勉強になった。
- ・アイデアキラーにならないように気をつけようと思った。

【Q4】「パネルディスカッション」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	悪くなかった
26 人	17 人	1 人	0 人	0 人

※回答なし・不明： 5 人

<感想>

- ・地域で実際に店舗経営されている方の生の声が聞けて良かった。
- ・「民」が動かす具体例が参考になった。
- ・地域資源の魅力が宮津にはたくさんあるので、どんどん活用していけばよいと思う。
- ・意外に知らない活動があつたり、知っていても内容をよく知らない活動を、深く知ることができて、良かった。質問時間がほしかった。
- ・宮津を愛するメンバーがイノベーションを起こすというフレーズに感動した。

【Q5】「ワークショップ」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
21人	13人	9人	1人	0人

※回答なし・不明：5人

<感想>

- ・自身の考えを整理するよい機会となった。
- ・自分では思いつかないような意見を聞くことができて良かった。
- ・他の人と交流して意見を取り入れていくことは大切だと思った。
- ・自分の考えを言葉にすることは難しかったが、考えを整理し周りの意見も聞けて、有意義であった。
- ・普段の中では宮津のことに関して話し合うことが少ないので、とても良い機会になった。

【Q6】福知山公立大学に期待することや、その他

- ・「ひと」「まち」が大きく変わることに必要なエネルギー創出に力を貸してほしい。
- ・進路にも生かしていきたいと思う。
- ・10年後に子どもを入学させたくなるような実績をアピールしてほしい。
- ・学長の話が良かった。親近感がわいた。
- ・宮津にも学生にもっと来てほしい。

来場者でグループワーク



グループワークの成果物



福知山公立大学開学記念連続講演会 in 伊根町 アンケート集計結果

平成 28 年 11 月 5 日（土）13：30～16：00
伊根町コミュニティセンターほっと館（ホール）

【アンケート実施概要】

参加者数	芳名記帳者数 28 人		
回答者数	27 人		
性別	男性： 24 人	女性： 2 人	回答なし・不明： 1 人
回収率	96%		

【Q1】年齢は？

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代以上
0 人	1 人	1 人	6 人	6 人	10 人	0 人	0 人	0 人

※回答なし・不明： 3 人

【Q2】この講演会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

大学のホームページで	新聞で	知人・友人から	伊根町の広報で（広報誌、ライン等）	その他
1 人	3 人	5 人	9 人	9 人

※回答なし・不明： 1 人

〈その他内訳〉

- ・職場
- ・与謝野町商工会の広報
- ・チラシ
- ・ロータリークラブの紹介

【Q3】基調講演「東北が取り組んでいる新しい農林水産業～「東の食の会」の事例紹介～」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	悪くなかった
21 人	6 人	0 人	0 人	0 人

※回答なし・不明： 0 人

〈感想〉

- ・復旧からのプロセスが非常に参考になった。
- ・一次産業の新たな発展のイメージが理解できた。
- ・プロフェッショナルが本気でぶつかり合い、連携することが必要だと思った。
- ・マーケティングもよく分からぬが、「おもしろい」「かっこいい」方向に行くのが正解なのだと思った。
- ・ブランド化とはイメージさせることが大事ということが印象深かった。

【Q4】「パネルディスカッション」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	悪くなかった
9 人	8 人	4 人	0 人	0 人

※回答なし・不明： 6 人

<感想>

- ・いろいろな気づきが得られた。これからに生かしていきたい。
- ・伊根町の現状等について、知ることができた。
- ・伊根町の直面する課題、特に人材育成・後継者不足、補助金依存等どこの地域でも抱えている。
問題をいかに解決していくか、地域や業種の壁を超えて取り組んでいく覚悟が必要である。
- ・伊根町にもいいものがあると思うので、あと一歩で何かが起きるのかなと思う。
- ・人員確保は収入確保が基本と考える。

【Q5】福知山公立大学に期待することや、その他

- ・地域の真実な現実を受け止めて、地域の人とともに行動する中で、「左脳」「右脳」「心」で地域の課題解決に取組み、人材を育成していってほしい。
- ・気楽に立ち寄れる敷居の低い大学であってほしい。
- ・地元にノウハウのない6次産業化や売り方の指導などを行ってほしい。
- ・地域とともに頑張ってほしい。

パネルディスカッションの様子



会場の様子



福知山公立大学開学記念連続講演会 in 綾部市 アンケート集計結果

平成 28 年 11 月 26 日（土）13：30～16：00
I・T ビル多目的ホール

【アンケート実施概要】

参加者数	芳名記帳者数 98 人		
回答者数	97 人		
性別	男性： 68 人	女性： 26 人	回答なし・不明： 3 人
回収率	99%		

【Q1】年齢は？

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代以上
0 人	3 人	5 人	29 人	26 人	19 人	2 人	0 人	0 人

※回答なし・不明： 13 人

【Q2】この講演会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

大学のホームページで	新聞で	知人・友人から	綾部市の広報で（広報誌、ライン等）	その他
3 人	15 人	17 人	31 人	39 人

※回答なし・不明： 4 人

〈その他内訳〉

- ・フェイスブック
- ・前回の講演会で
- ・チラシ
- ・職場

【Q3】基調講演「田園回帰の時代～未来の希望を求めて～」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	悪くなかった
57 人	37 人	2 人	0 人	0 人

※回答なし・不明： 1 人

〈感想〉

- ・身近な問題を数字で明確に表現してもらうと、改めて問題意識を持ちことができた。
- ・農山村のあり方を再認識した。
- ・時間が短かった。地域づくりについても聞きたかった。
- ・農村の良さを若い人に広げる必要があり、高校生に U ターンを考える運動が必要である。
- ・前向きにもがいでいる地域は、若者が集まつてくるという言葉に勇気をもらった。
- ・とても分かりやすい。

【Q4】「パネルディスカッション」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	悪くなかった
45 人	34 人	2 人	2 人	0 人

※回答なし・不明： 14 人

<感想>

- ・「人が人を呼ぶ」とか 「人を巻き込む」という感覚を若年層に伝えてほしい。
- ・パネリストの移住のきっかけや今の暮らしについての話は、参考になった。
- ・綾部に移り、人生の変えた人の話が聞けて良かった。
- ・移住のよい面のみでなく、苦労した点や嫌な面も聞きたかった。
- ・パネリストの方々が生き生きとしていて、自分も何かやりたいと思うきっかけになった。
- ・素晴らしい内容だった。可能性を感じた。

【Q5】福知山公立大学に期待することや、その他

- ・学生を広く社会勉強させる。地域の人や高齢者とも交流してほしい。
- ・なくてはならない大学として、他地域からも学生が集まる大学になることを期待している。
- ・大学の存在は地域の底力と、心強くうれしい。
- ・京都北部地域にこんな未来に期待できる大学があると気づくきっかけになった。
- ・よい講演会だった。今後も北部地域活性化のため市民向けの講演会を開催してほしい。
- ・全国から集まっている学生たちと話をする機会があればいいと思う。

コーディネーター 塩見 直紀 准教授



会場の様子



福知山公立大学開学記念連続講演会 in 舞鶴市 アンケート集計結果

平成 28 年 12 月 11 日（日）10：00～12：00
舞鶴商工観光センター

【アンケート実施概要】

参加者数	芳名記帳者数 100 人		
回答者数	90 人		
性別	男性： 75 人	女性： 12 人	回答なし・不明： 3 人
回収率	90%		

【Q1】年齢は？

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代以上
2 人	6 人	2 人	15 人	36 人	14 人	3 人	1 人	0 人

※回答なし・不明： 11 人

【Q2】この講演会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

大学のホームページで	新聞で	知人・友人から	舞鶴市の広報で（広報誌、ライン等）	その他
2 人	2 人	13 人	37 人	35 人

※回答なし・不明： 6 人

〈その他内訳〉

- ・チラシ
- ・職場
- ・福知山市立図書館
- ・関西クルーズ振興協議会

【Q3】基調講演「クルーズ観光新時代における京都舞鶴港の可能性」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
41 人	37 人	9 人	1 人	0 人

※回答なし・不明： 2 人

〈感想〉

- ・クルーズの概要、今後の方向性等理解できた。
- ・とても分かりやすい。クルーズ全体の話と舞鶴の可能性などとても有意義だった。
- ・グローバルな観点からの市場説明もあり、クルーズの全体感がつかめてとても有益であった。
- 京都舞鶴港に関しては、船社としての問題提起もあればなおよかったです。
- ・もう少し基本的な船社が求める寄港地の条件や方向性を、舞鶴港を対象として示してほしかった。
- ・クルーズを巡る状況を分かりやすく説明され、舞鶴港の位置づけがよく理解できた。

【Q4】「パネルディスカッション」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
42 人	35 人	7 人	1 人	0 人

※回答なし・不明： 5 人

<感想>

- ・パネリストの糸川氏の話で、課題がよく分かった。
- ・クルーズ観光が発展していく可能性を感じた。
- ・舞鶴の良さをどう広めるか、大学との連携も大切だ。
- ・クルーズ観光が身近に感じた。クルーズ観光がしてみたくなった。
- ・もう少し時間がほしかった。
- ・受け入れ側の課題も解決する必要性を認識できた。
- ・コスタ社の戦略や行政機関の対応などがよく理解できた。
- ・クルーズ会社、地元関係機関、関係者等よく情報共有してタイアップしていく必要を感じた。

【Q5】福知山公立大学に期待することや、その他

- ・地域の振興につながるような取り組みを期待している。
- ・地域との連携を深めていることは、すばらしいと思う。
- ・ユニークな教授陣を揃えて、ローカルに密着した活動を評価する。
- ・福知山公立大学が北近畿・京都府北部に根付いた大学になることを期待する。
- ・このような講演会は良い企画だと思う。継続してほしい。
- ・地域課題に対応する研究をして、広く情報発信してほしい。

コーディネーター 篠原 正人 教授



パネルディスカッションの様子



福知山公立大学開学記念連続講演会 in 京丹後市 アンケート集計結果

平成 28 年 12 月 25 日（日）10：00～12：00
アグリセンタ大宮

【アンケート実施概要】

参加者数	芳名記帳者数 105 人		
回答者数	98 人		
性別	男性： 74 人	女性： 20 人	回答なし・不明： 4 人
回収率	93%		

【Q1】年齢は？

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代以上
1 人	4 人	10 人	14 人	25 人	21 人	9 人	2 人	0 人

※回答なし・不明： 12 人

【Q2】この講演会は何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

大学のホームページで	新聞で	知人・友人から	舞鶴市の広報で（広報誌、ライン等）	その他
8 人	5 人	26 人	6 人	49 人

※回答なし・不明： 6 人

〈その他内訳〉

- ・チラシ
- ・前回の講演会で
- ・職場
- ・高野さんのフェイスブック

【Q3】基調講演「地域資源は足元に埋まっている」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	悪くなかった
68 人	27 人	0 人	1 人	0 人

※回答なし・不明： 2 人

〈感想〉

- ・話がとてもおもしろく、分かりやすくて良かった。
- ・何に着目するか、大変参考になった。
- ・非常に目から鱗の話が多く、もっと聞きたかった。
- ・発想が素晴らしい。行動することがいかに大切か、改めて感じた。
- ・公務員に聞いてほしい内容であった。再度、企画してほしい。
- ・元気・行動・失敗が必要だと気づいた。
- ・講演時間が短かった。
- ・資料配布があればよかったです。

【Q4】「パネルディスカッション」

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
21人	38人	23人	5人	0人

※回答なし・不明：11人

<感想>

- ・他県の成功事例が非常に参考になった。
- ・京丹後市でも、元々ある地域の特徴や資源を活用して発展できる可能性を感じた。
- ・智恵と戦略、思いつく人とそうでない人、誰かがやってくれることと自分でやること等、考えさせられた。
- ・資源の見せ方が大事だと思った。参考になった。
- ・疲れることは長続きしない、具体的な利益・成果につなげるなど、参考になった。

【Q5】福知山公立大学に期待することや、その他

- ・北近畿北部地域の産業（農業関連）発展に尽くしてほしい。
- ・このような講演会は良い企画だと思う。継続してほしい。
- ・地域の課題をともに解決できるような協働創りを期待する。
- ・地元高校や中学との連携、地域との連携が地域の創造になる。
- ・他市町村との連携のかけはしとなってほしい。

大学紹介 富野 暉一郎 副学長



会場の様子



福知山公立大学 北近畿地域連携センター
平成 28 年度 「福知山公立大学開学記念連続講演会」報告書
2017 年 3 月 発行

発行所 福知山公立大学北近畿地域連携センター
〒620-0886 京都府福知山市字堀 3770
TEL:0773-24-7151
E-mail: kita-re@fukuchiyama.ac.jp

印刷所 谷印刷所
〒620-0051 福知山市昭和新町 133 番地
TEL:0773-22-1050 FAX:0773-22-1090